

# 馬市

この絵は、「東海道五十三次」の、池鯉鮒  
という宿で、馬市の様子が描かれているよ



さるお

馬市？



さる吉



戦のための馬や輸送用の馬を売り買いする野々市の馬市は、室町時代から開  
かれました。交通・商いの重要な地であった本町地区は、富樫氏が政治を行う  
守護所が置かれており、長享二年（1488）に馬市が開かれていた記録がみられ  
ます。（※1）

その後、野々市での馬市の記録はいったん途絶えますが、江戸時代の終わり頃  
には、さかんに馬市が開かれています。野々市周辺は田を耕す馬が少なかったた  
め農村が貧しく、改善のために馬市を多く開きました。馬市は、昭和初期頃まで  
続き、年に一回、全国各地から馬が集められ、馬が売り買いされました。



江戸時代終わり頃の野々市の馬市は、  
この郷土資料館から東へ350mのところ  
にある布市神社で開かれていたんだって！



※1 『官地論』（1600年頃成立・著者不明）より、富樫政親の高尾城を包囲した勢力  
の中に、野々市の馬市に陣をとったという記述がある。